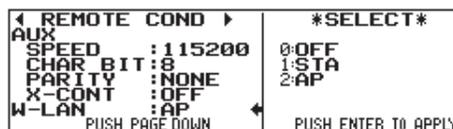


< 「LE ファイルダウンローダー」 の使い方 >

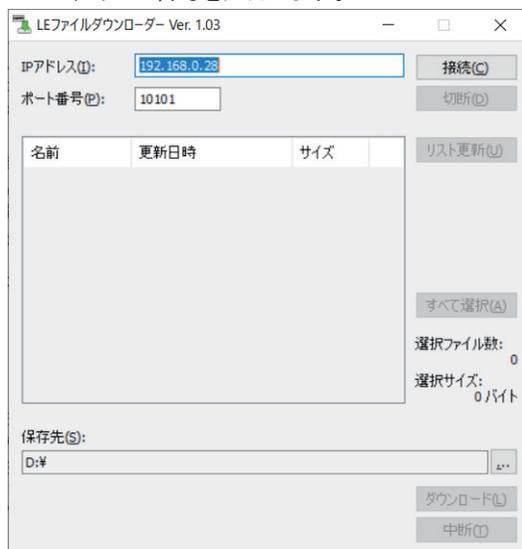
PC ソフト「LE ファイルダウンローダー」とアナライザーのオートセーブ機能を利用することで、SD カードや USB メモリーに自動保存された計測ログファイル（#XXXXXXXX.DT）を Wi-Fi 接続によりパソコンにダウンロードできます。

アナライザー本体を現場にセットしておき、通信障害が発生した時などにオートセーブ機能を継続しながら、障害発生時刻のタイムスタンプのログファイルをパソコンにダウンロードして通信状況を確認するような使い方が可能です。

- ① ラインアイのホームページから LE ファイルダウンローダー（lefiledownload.exe）をパソコンの適当なフォルダにダウンロードしておきます。インストールは不要です。
- ② アナライザーとパソコンを Wi-Fi で接続できるようにしておいてから、オートセーブ機能を使った測定を開始します。
アナライザーの Wi-Fi 設定は、システム設定の無線 LAN 設定タブ（LE-3500XR/LE-2500XR）や [MENU],[3],[3] のリモート通信条件設定（LE-3500R/LE-2500R/LE-1500R）で行います。詳しくはアナライザーの取扱説明書をご覧ください。



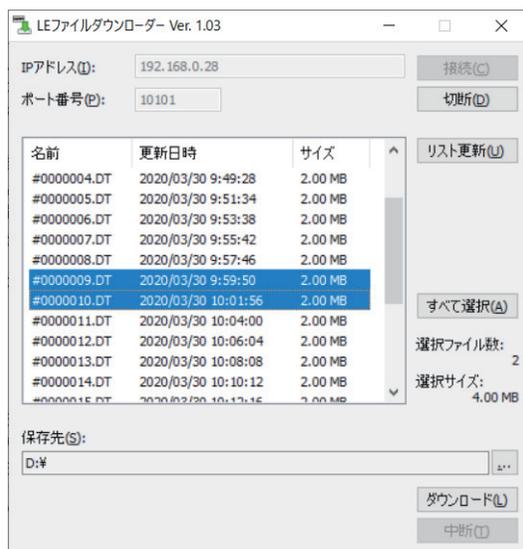
- ③ lefiledownload.exe をダブルクリックして起動します。
- ④ アナライザーの IP アドレス、ポート番号を入力します。



※ 画面の IP アドレスは参考例です。ネットワーク環境に合わせてアナライザーに割り当てられた IP アドレスを入力してください。画面のポート番号はアナライザーの初期値です。

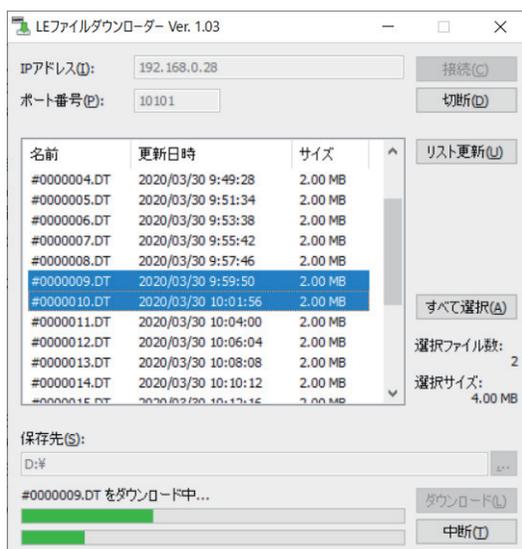
- ⑤ [接続] をクリックするとログファイルのリストがリストウインドウに表示されます。
[リスト更新] をクリックすると最新の状態がリストウインドウに再表示されます。

- ⑥ リストウィンドウのファイルのタイムスタンプなどを確認してダウンロードするログファイルをクリックして選択します。



- ⑦ ファイルの保存先を確認し、必要なら [...] をクリックして変更しておきます。

- ⑧ [ダウンロード] をクリックすると Wi-Fi 経由で転送が始まります。



- ⑨ 16MB のファイルの転送に約 2 分間が必要です。計測中にダウンロードする時は計測対象の通信速度や電波状況によって、さらに長時間かかる場合がありますので、複数ファイルを指定する際は考慮してください。

1 ファイル転送完了するごとに「保存先」フォルダに保存されます。

- ⑩ ダウンロードしたログファイルは、PC リンクソフト LE-PC300R に読み込んで解析してください。